

【年間学習計画】



【本題材について】

～題材の概要～
「花火（音グループ）」「ジャングル（楽グループ）」を題材に創作し、**イメージを基に音楽を作る活動**を通して、器楽の表現力を高める

～学習計画～

次	題材	学習活動	時間
1	音を聴こう、楽器を知ろう	・様々な楽器を鳴らし、楽器特有の音質や音色を知る。	1
2	イメージを音で表現しよう	・イメージしたことを音で表現する。	1
3	イメージを音楽で表現しよう	・動画を見て、イメージしたことを音で表現し、音楽づくりをする。	2
4	イメージを演奏しよう	・つくった音楽を発表する。（2グループ合同で発表会）	1

～グループ編成～

おん 音グループ
1年生3人、2年生5人、3年生6人 計14人

がく 楽グループ
1年生5人、2年生4人、3年生3人 計12人

グループ編成方法

- 簡単なリズム譜を見て演奏する力（読譜力）
- 音楽を特徴づける基本的な要素を聴き取る力（聴取力）

題材の目標

- 1 様々な楽器やその奏法を知り、演奏することができる。【知識・技能】
- 2 自分のイメージを音や音楽で表現することができる。【思考・判断・表現】
- 3 グループで互いの音を聴いて話し合い、良かった点や工夫点等に基づき、音色を工夫しようしたり、音や音楽で表現しようしたりすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

おん 音グループ の取組

“音から音楽へ”発展的に活動を設定



- 「聴く」楽器を知る
- イメージを音で表現
- イメージを基に仲間と音楽づくり
- つくった音楽を発表

音を聴くための状況づくり

視覚情報を遮断し、聴く環境を整える。

何の楽器？

演奏の仕方は？

聴いた音を再現する活動の設定。

質感や響き

興味関心や意欲の向上

クラベス(打楽器)
奏法によって、音の響きや質感が異なることに気づきやすい楽器。

イメージを広げる視覚情報の活用

絵を見て、イメージしたことを音楽で表現

絵や図が異なると、表現が変わる “音楽の表現の広がり”

イメージと表現を繋ぐ図形譜の活用

花火をイメージした**図形譜** (個人作成)

イメージと音楽の表現を繋ぐ

イメージが近い人同士で作成した**図形譜** (班作成)

イメージを相手と共有する

がく 楽グループ の取組

“表現の発展性”を求めて

・多数の楽器を用意

・遊びを通して音楽の要素(速さ、リズム、強弱)を伝える

・曲調の異なる4種類の曲を提示

様々な音色に興味をもつ

要素の聴取

イメージを音で表現

イメージをもち、広げる視覚情報の活用

・視覚的に捉えられるメトロノームの提示

・音や音楽に合わせて、動画の活用

速さを視覚的に提示

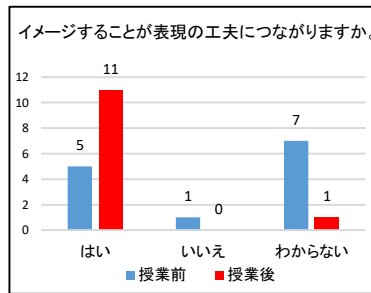
「ジャングル」を音と映像で提示

※どちらでも表示可(アプリ:Metronome)

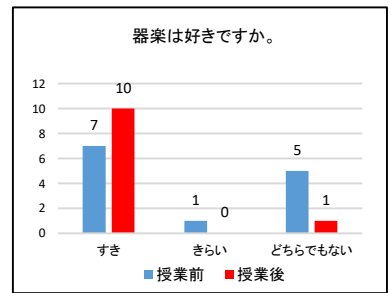
【成果と課題】

成果

①イメージすることと表現の工夫への理解が深まった



②器楽が好きになった



課題

学習の課程で学んだことの意味や価値などを生徒が自覚できるようにする

- ・個の振り返り、
- ・音グループと楽グループ相互の振り返り、全体共有

学びの価値付けと共有

【考察】

表現する上で思いや意図をもつことが大切

価値ある音を探求することが大切